

標 題 : Mediterranean Diet Reduces the Adverse Effect of theTCF7L2-rs7903146 Polymorphism on Cardiovascular Risk Factors and Stroke Incidence
A randomized controlled trial in a high-cardiovascular-risk population
心臓血管系の危険因子および脳卒中の発症率に対する
TCF7L2-rs7903146 多型の悪影響を地中海食事は減少させる
高心臓血管系リスクの人々におけるランダム対照比較試験

著 者 : D. Corella , et al. (スペイン ヴァレンシア大学 医学部
予防医学、公衆衛生学科)

掲 載 誌 : Diabetes Care 2013年8月13日オンライン発表
Pub Med でタイトル検索すると Diabetes Care **36**(11): 3803–11 (2013)

要 旨 :

目 的 : Transcription factor-like-2(転写因子 7-2 様、TCF7L2)の多型は 2 型糖尿病と強く関連するが、血漿脂質および心臓血管系疾患との関連は論争になっている。これらの関連に対する地中海食事の相互作用は知られていない。
TCF7L2-rs7903146(C>T)多型と 2 型糖尿病、グルコース、脂質および心臓血管系疾患の発症率との関連が、地中海食事によって変化するかどうかを我々は研究した。

研究計画および方法 : ランダム試験 (地中海食事介入の 2 群と対照群) を PREvención con DIetaMEDiterránea 研究の参加者 7,018 に対して実施して、重要な心臓血管系の症状(event)を評価した。

開始時および 4.8 年(中位数)追跡後にデータを解析した。

心臓血管系症状のハザード比(HR)を推定するために、多変量調整 Cox 回帰を使用した。

結 果 : TCF7L2-rs7903146 多型は 2 型糖尿病と関連した (オッズ比 1.87[95%CI 1.62–2.17] TT と CC の比較)。

開始時に空腹時グルコースに対して、地中海食事は rs7903146 と有意な相互作用をした (相互作用の P=0.004)。

地中海食事の順守が低いときに、CC+CT(127.3±3.2mg/dl)よりも高い空腹時グルコース濃度(132.3±3.5mg/dl)を TT は有した(P=0.001)。

それにもかかわらず、順守が高いときには、この上昇は観察されなかった (P=0.605)。

この変化は、総コレステロール、LDL コレステロール、トリグリセリドでも検出された (全てで相互作用の P<0.05)。

同様にランダム試験で、対照群では **TT** 被験者は高い脳卒中発症率を有したが（調整 **HR** 2.91[95%CI 1.36–6.19] **CC** との比較で **P=0.006**）、その一方で地中海食の食事介入により **TT** ホモ型で脳卒中発症率が低下した（調整 **HR** 0.96[95%CI 0.49–1.87] **TT** と **CC** の比較で **P=0.892**）。

結 論： **TT** 型の人で、地中海食事は上昇した空腹時グルコースを低下させるだけでなく、脳卒中発症率も低下させる。
